



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日
東

上場会社名 片倉工業株式会社 上場取引所
 コード番号 3001 URL <https://www.katakura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上甲 亮祐
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 森 英明 (TEL) 03(6832)0229
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	33,888	1.2	2,521	87.0	3,072	56.2	1,450	20.7
2018年12月期第3四半期	33,480	△5.6	1,348	△25.2	1,966	△13.4	1,201	14.1

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 2,982百万円(△30.7%) 2018年12月期第3四半期 4,304百万円(342.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	41.38	—
2018年12月期第3四半期	34.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	134,336	80,207	42.1
2018年12月期	138,288	77,718	39.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 56,507百万円 2018年12月期 54,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	—	—	12.00	12.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,900	△0.9	2,200	43.7	2,800	14.0	1,700	32.5	48.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年12月期3Q	35,215,000株	2018年12月期	35,215,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年12月期3Q	156,998株	2018年12月期	159,498株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年12月期3Q	35,057,014株	2018年12月期3Q	35,113,407株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信「添付資料」P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が持ち直し、設備投資が緩やかに増加していることにより、雇用環境や企業収益が改善し、景気は緩やかな回復基調にあるものの、通商問題を巡る緊張や中国経済の減速など、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループは、2017年から5ヵ年を計画期間とする中期経営計画「カタクラ2021」を策定し取り組んでおります。事業環境の悪化等により安定した収益基盤の確立に至っていない事業については、ビジネスモデルの転換と更なる収益改善に取り組んでおります。

繊維事業における実用衣料分野、医薬品事業、機械関連事業については、安定した収益基盤の確立と成長事業への転換を完了させるべく、構造改革を継続しております。不動産事業におきましては、社有地開発による収益の拡大、既存商業施設の鮮度向上による収益の安定に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、繊維事業において前期に補整下着事業から撤退したことに加え、実用衣料の肌着、耐熱性繊維等の機能性繊維が低迷したことにより減収、その他で前期にホームセンター事業から撤退した影響により減収となったものの、機械関連事業において消防自動車関連で増収となったため、338億88百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

営業利益は、医薬品事業、機械関連事業および不動産事業の増収により25億21百万円（前年同四半期比87.0%増）、経常利益は30億72百万円（前年同四半期比56.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億50百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 繊維事業

繊維事業は、前期に補整下着事業から撤退したことに加え、実用衣料の肌着、耐熱性繊維等の機能性繊維が低迷したため減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は57億4百万円（前年同四半期比5.1%減）、営業利益は22百万円（前年同四半期比45.6%減）となりました。

② 医薬品事業

医薬品事業は、昨年発売した不整脈治療剤「アミオダロン静注」が好調に推移しました。また、経皮吸収型・ β 1遮断剤「ビソノテープ」についても、適応追加及び製剤改良の結果、順調に販売を伸ばしました。

この結果、医薬品事業の売上高は108億6百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益は利益率の高い品目の割合増加により6億34百万円（前年同四半期比448.9%増）となりました。

③ 機械関連事業

機械関連事業は、消防自動車関連で、ODA向け車両及び電力会社向け車両の受注増により増収となりました。

この結果、機械関連事業の売上高は79億51百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業損益は48百万円の損失（前年同四半期は3億20百万円の損失）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、一部オフィスビルやショッピングセンターでのテナント賃料増の影響により増収となりました。

この結果、売上高は80億92百万円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は31億61百万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

⑤ その他

その他の区分は、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、低カリウムレタス等の高機能野菜やはなびらたけの生産・販売等により構成されております。

前期にホームセンター事業、化粧品事業、デイサービス直営事業から撤退した影響もあり、その他の売上高は13億34百万円（前年同四半期比27.5%減）、営業損益は52百万円の損失（前年同四半期は2億39百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,343億36百万円（前連結会計年度末比39億52百万円減、同比2.9%減）となりました。

これは、投資有価証券が増加したものの、現金及び預金、有価証券、仕掛品が減少したことが主因であります。

(資産の部)

流動資産は、512億54百万円（前連結会計年度末比53億83百万円減、同比9.5%減）となりました。増減の主要な項目は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、有価証券、仕掛品であり、それぞれ13億61百万円、9億4百万円、10億円、12億78百万円減少しました。

固定資産は、830億82百万円（前連結会計年度末比14億31百万円増、同比1.8%増）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、投資有価証券であり、建物及び構築物は9億55百万円減少し、投資有価証券は14億42百万円増加しました。

(負債の部)

流動負債は、188億14百万円（前連結会計年度末比50億45百万円減、同比21.1%減）となりました。増減の主要な項目は、支払手形及び買掛金、短期借入金であり、それぞれ20億41百万円、26億25百万円減少しました。

固定負債は、353億14百万円（前連結会計年度末比13億95百万円減、同比3.8%減）となりました。増減の主要な項目は、長期借入金であり、14億66百万円減少しました。

(純資産の部)

純資産は、802億7百万円（前連結会計年度末比24億89百万円増、同比3.2%増）となりました。また、自己資本比率は42.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、2019年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,814	27,452
受取手形及び売掛金	10,614	9,710
リース投資資産	4,864	4,830
有価証券	1,000	—
商品及び製品	3,406	2,966
仕掛品	3,867	2,588
原材料及び貯蔵品	2,292	2,213
その他	1,783	1,498
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	56,637	51,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,844	28,889
土地	16,769	16,769
その他（純額）	2,055	2,790
有形固定資産合計	48,670	48,449
無形固定資産	732	538
投資その他の資産		
投資有価証券	30,186	31,628
退職給付に係る資産	1,310	1,747
その他	780	750
貸倒引当金	△30	△32
投資その他の資産合計	32,247	34,093
固定資産合計	81,651	83,082
資産合計	138,288	134,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,331	4,290
短期借入金	6,169	3,544
1年内返済予定の長期借入金	1,385	1,525
未払法人税等	468	624
賞与引当金	343	730
役員賞与引当金	10	0
その他	9,151	8,098
流動負債合計	23,860	18,814
固定負債		
長期借入金	11,316	9,850
長期未払金	1,837	1,656
繰延税金負債	8,156	8,712
役員株式給付引当金	18	35
土壤汚染処理損失引当金	52	45
退職給付に係る負債	2,735	2,639
長期預り敷金保証金	9,033	8,979
資産除去債務	1,692	1,692
その他	1,868	1,703
固定負債合計	36,710	35,314
負債合計	60,570	54,128
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	332	332
利益剰余金	38,999	40,028
自己株式	△213	△210
株主資本合計	40,935	41,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,848	14,519
繰延ヘッジ損益	8	△1
退職給付に係る調整累計額	△102	21
その他の包括利益累計額合計	13,754	14,539
非支配株主持分	23,028	23,700
純資産合計	77,718	80,207
負債純資産合計	138,288	134,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	33,480	33,888
売上原価	21,499	21,294
売上総利益	11,981	12,594
販売費及び一般管理費	10,633	10,073
営業利益	1,348	2,521
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	476	539
その他	302	207
営業外収益合計	785	750
営業外費用		
支払利息	126	102
シンジケートローン手数料	2	56
その他	38	40
営業外費用合計	167	199
経常利益	1,966	3,072
特別利益		
固定資産売却益	207	2
投資有価証券売却益	13	466
その他	0	—
特別利益合計	221	468
特別損失		
固定資産処分損	109	156
減損損失	92	—
事業撤退損失	124	248
割増退職金	—	519
特別損失合計	326	924
税金等調整前四半期純利益	1,861	2,617
法人税、住民税及び事業税	742	859
法人税等調整額	△223	9
法人税等合計	519	868
四半期純利益	1,342	1,748
非支配株主に帰属する四半期純利益	141	297
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,201	1,450

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,342	1,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,787	1,082
繰延ヘッジ損益	33	△9
退職給付に係る調整額	140	160
その他の包括利益合計	2,962	1,233
四半期包括利益	4,304	2,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,572	2,236
非支配株主に係る四半期包括利益	1,732	746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月29日 定時株主総会	普通株式	421	12.00	2017年12月31日	2018年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、「株式給付信託(BBT)」の信託契約に基づき自己株式96,400株の取得を行いました。この取得により自己株式が129百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は213百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	421	12.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式に対する配当金1百万円が含まれております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維	医薬品	機械関連	不動産	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	6,012	10,531	7,263	7,830	1,841	33,480	—	33,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	0	30	180	214	△214	—
計	6,016	10,531	7,263	7,860	2,022	33,695	△214	33,480
セグメント利益 又は損失(△)	40	115	△320	2,849	△239	2,445	△1,097	1,348

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、低カリウムレタス・はなびらたけの生産・販売、デイサービス等の新規事業等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,097百万円には、セグメント間の取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,088百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	繊維	医薬品	機械関連	不動産	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	5,704	10,806	7,951	8,092	1,334	33,888	—	33,888
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	0	22	178	203	△203	—
計	5,708	10,806	7,951	8,114	1,512	34,092	△203	33,888
セグメント利益 又は損失(△)	22	634	△48	3,161	△52	3,716	△1,195	2,521

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売、低カリウムレタス・はなびらたけの販売等のライフソリューション事業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,195百万円には、セグメント間の取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,187百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。